田辺三菱製薬株式会社
〒541-8505 大阪市中央区道修町 3-2-10

2025 年度田辺三菱製薬医学教育助成 公募詳細①

1.公募対象疾患

視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD），多発性硬化症（MS），筋萎縮性側索硬化症（ALS）

2.公募テーマ

以下のテーマに基づいた教育活動を対象とします。
・神経難病の疾患啓発・医療提供体制の充実につながる取り組み

3.背景と目的

「難病」とは、「発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない、希少な疾病であって、長期の療養を必要とするもの」と「難病の患者に対する医療等に関する法律」（いわゆる「難病法」）に定義されており、神経領域においても多くの疾患が難病指定されています。これらの神経難病の中には、運動ニューロンと呼ばれる神経細胞が進行性に変性・消失していく疾患として知られる「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」（患者数約 9,100 人；平成 24 年度医療受給者証保持者数）、中枢神経（脳、脊髄など）の神経線維周囲を覆う組織（髄鞘など）に炎症や傷害が起きて神経が傷ついてしまう疾患である「視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）」および「多発性硬化症（MS）」（２疾患合わせた患者数約 17,100 人；平成 24 年度医療受給者証保持者数）も含まれています。
これら神経難病は、希少かつ多様な病態を示すことから発症してから確定診断までに長期間を要する場合が多く、可能な限り早期に正しい診断ができる体制を構築する必要があります。また診断後は、地域の身近な医療機関あるいは在宅にて、安心して療養しながら暮らしを続けていくことができるよう、学業・就労と治療を両立できる環境整備を医学的な面からも支援する体制が求められています。

4.募集するプロジェクト

神経難病の疾患啓発・医療提供体制の充実につなげるための以下の様な教育プロジェクトが支援の対象となります。

（普及啓発・診療水準の向上）
- ✓ 医療従事者（非専門医や看護師等も含む）に対して、神経難病の疾患教育・啓発活動（診療ガイドライン等）を通じて、視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）、多発性硬化症（MS）、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の早期鑑別診断および適切な治療を推進するプロジェクト
- ✓ 神経難病について、医療従事者の知識向上や患者 QOL 維持を目的とした資材を開発し、それを周知させるプロジェクト
- ✓ 疾患の症状や兆候について患者の理解向上を目的とした資材を開発し、それを周知させるプロジェクト

（地域における医療提供体制の整備）
- ✓ 関連する紹介基準の普及や連携体制の好事例の共有など、地域における医療連携の体制整備を促進させるプロジェクト

（人材育成）
- ✓ 神経難病に関する基本的な知識を有する看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー等のメディカルスタッフ育成および専門医（脳神経内科等）の育成に繋がるプロジェクト
- ✓ かかりつけ医と専門医（脳神経内科等）の連携を推進する人材を育成するプロジェクト

田辺三菱製薬株式会社
〒541-8505 大阪市中央区道修町 3-2-10

2025 年度田辺三菱製薬医学教育助成 公募詳細②

1.公募対象疾患

統合失調症，双極性障害，大うつ病等

2.公募テーマ

以下のテーマに基づいた教育活動を対象とします。
・抗精神病薬の適正使用につながる取り組み
- 抗精神病薬のリスクベネフィット最適化
- 薬剤性不随意運動の予防や発症時の適切な対処

3.背景と目的

近年、抗精神病薬の使用は統合失調症のみならず気分障害圏の患者さんにも広がりつつあります。抗精神病薬の使用機会の拡大に伴い、その適正使用・副作用マネジメントの重要性が高まっています。
抗精神病薬などの薬物療法に伴う不随意運動、運動障害については、日常生活に様々な影響を及ぼすものの、発生原因が複雑であり適切な治療に繋げるための鑑別診断は容易ではありません。特に遅発性ジスキネジアについては、これまで本邦で承認された治療薬が存在しなかったことから、適切な治療選択を行う上で症状認知・適切な鑑別の普及は重要な課題です。

4.募集するプロジェクト

抗精神病薬の適正使用につなげるための以下の様な教育プロジェクトが支援の対象となります。

- ✓ 遅発性ジスキネジアなどの不随意運動、運動障害に対する教育・啓発活動を通じて、鑑別診断水準を向上させるプロジェクト
- ✓ 医療従事者(非専門医や看護師、薬剤師等も含む)に対する教育・啓発活動を通じて、抗精神病薬の適正使用を推進するプロジェクト
- ✓ 上記について医療従事者の知識や診断スキルの向上・治療の適正化を目的とした資材を開発し、それを周知させるプロジェクト
- ✓ 上記について患者・家族の理解向上を目的とした資材を開発し、それを周知させるプロジェクト
- ✓ 多職種チーム医療提供体制整備（好事例の共有や人材育成・資材開発等）を通じて、抗精神病薬の適正使用を推進するプロジェクト